



水 明

令和6年3月7日

＜学校教育目標＞

よりよく生きる ～ 夢 笑顔 学ぶ瞳 ～

＜こんな子どもに＞

たくましい子 やさしい子 かしい子

◆令和5年度 教育活動に関する保護者アンケートの結果をお知らせします◆

令和5年12月に実施いたしました標記のアンケートには、ご多用中にもかかわらず、149名(94%)の方にご協力をいただきありがとうございました。

ほとんどの項目でAB合わせ「おおむね良い」という肯定的な評価をいただきました。コロナ禍が明けましたが、感染症に気を付けながら学校行事等が当たり前に行えることを有り難く思います。学校や職員への温かいメッセージをたくさんいただき、ありがとうございました。また、学校へのご意見やご要望等は、全職員で検討し次年度の学校運営に生かしたいと考えております。

【A:よい B:おおむねよい C:すこし不十分 D:不十分 ?:分からない】（紙面の関係上、ご意見等は一部抜粋）

項目	質問内容	R5	R4
I 1	本校は、「めざす子ども像」の実現に向けて積極的に取り組んでいると思いますか。	37%	57%
		46%	44%
2	本校は、郷土のよさ（自然や歴史、文化など）を生かして取り組んでいると思いますか。	56%	41%
		57%	38%
II 3	本校の教職員は、お子さんに基礎的な内容が身に付くよう指導に努めていると思いますか。	46%	48%
		48%	42%
4	本校の教職員は、自分の考えを伝え合う活動等を通して、学ぶ意欲を高めるような授業の展開に努めていると思いますか。	42%	50%
		48%	42%
5	本校は、読書指導（昼の読書タイム、読み聞かせ等）に努めていると思いますか。	43%	50%
		54%	36%
II 6	お父さんは、家庭学習に取り組む習慣が身に付いていると思いますか。	28%	42%
		28%	48%

I 学校教育目標について

- 担任の先生をはじめ教職員の皆さま、地域の方々のおかげで、子どもは飯田川小学校がとても好きで毎日楽しく通っています。ありがとうございます。これからもご指導よろしく願います。
- 学校活動の中で、田植えや稲刈り、収穫祭など地域の方々から協力をいただきながらの行事を通し、子どもたちに郷土愛が育まれている感じがし、今後も是非続けていただきたいと思えます。そのような経験は、貴重な思い出として残ると思えます。
- 息子の祖母が、学校の草取りや家庭科の授業で、婦人会の一人としてお手伝いに入らせていただきました。とても張り切って参加をしていて、子どもたちとの関わりを通してよい刺激をいただいている姿がありました。子どもたち、地域の方々、双方にとってとてもよい取組だと思えます。

保護者の皆様、そして地域の皆様には日頃より本校の教育活動にたくさんのご理解とご協力をいただき心から感謝いたします。本校は、「地域とともにある学校」を目指し、地域を舞台としたふるさと教育を推進しているところです。今後も体験活動を重視したふるさと教育を推進し、地域の産業や人々等との関わりを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現する力を育ててまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

II 学習指導について

- チャレンジノートを自由に勉強に使わせてくださりありがとうございます。国語、算数だけではなく、お料理のレシピや日記、地域の興味があることを調べたりなど多方面から学んでいます。『勉強って楽しいー！』と独り言を言いながら書いていました。先生からのコメントや、カエルのイラストがあるとさらにやる気が出ています。高学年になっても自ら考え自由に学べる家庭学習をさせてください。
- 家では本人がなかなかやる気になれず、せめて学校では集中して授業を受けるよう言い聞かせています。1年生の終わりよりも難しくなっているはずなのに、点数がよくなり教えていない漢字が読めるようになったりと学ぶことに少し興味が湧いてきたようです。授業参観での姿しか見ていませんが、子どもたちが飽きないよう工夫して授業をされていることに感動しました。本人も楽しく学べているようなので、とてもありがたく感じています。引き続き宜しくお願いいたします。

- 家庭学習がなかなか身に付かず、悩んでいる。本人の成長とともに取り組もうとする気持ちに変化が出てくることを期待しているところです。
- 勉強が難しくなり、家庭学習になかなか気持ちが向かないことが多くなりました。親としてどのような声かけをして取り組ませたらよいか、悩むこともあります。

毎日の学習や、諸調査・アンケート結果から現状を把握・分析し、よりよい授業づくりに向けての研修を通じた授業改善を進め、子どもたちの学ぶ意欲の高揚を図っていきたくて考えております。また、学習形態やICT機器の活用等を工夫し、限られた学習時間を有効に活用して、分かりやすい授業づくりに努めてまいります。家庭学習については、習慣化に向けて羽城中学校区3校で同じ方向性をもって取り組んでいるところです。量や内容については、学年に応じた目標を設定して取り組んでいます。進級・進学を控えているこの時期にこそ子どもたちが自分ごととして捉えることができるよう「家庭学習の手引き」を活用して再確認していきたくて考えております。今後ともご家庭と連携し、主体的に学ぶ力の育成、学習内容の定着等に取り組んでいきたくて考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

7	III 生徒指導について	お子さんは、学校生活や活動を楽しんでいると思いますか。	
8		お子さんは、家庭や地域などで進んであいさつしていると思いますか。 【R5新規】	
9		本校の教職員は、お子さんのことをよく理解し、お子さんが学校で困った時は親身になって相談にのっていると思いますか。	
10		本校では、いじめのない学校を目指し、道徳教育の充実や一人一人の把握（生活アンケートの実施等）に努め、適切な指導を行っていると思いますか。	
11		交通安全や不審者対応など、安全面での指導に努めていると思いますか。	

III 生徒指導について

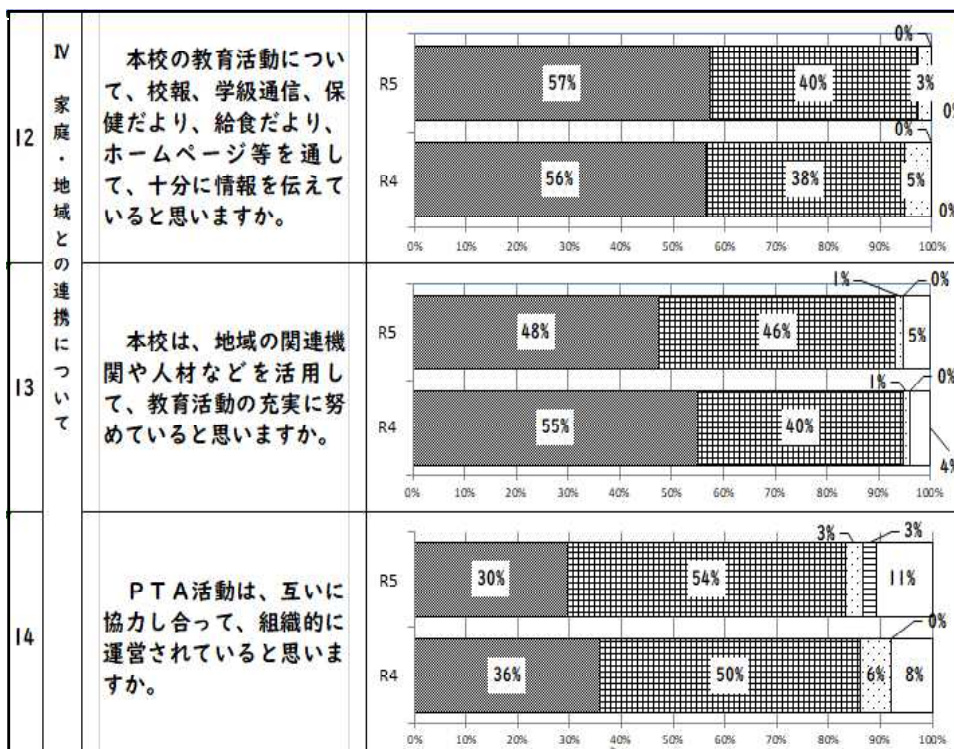
- 先生は子どもに寄り添い楽しみながら勉強や日常生活のルールなど根気強く教えてくれるので毎日元気に登校してくれます。
- 自分の子どもももちろんあいさつができていませんが、全体的にあいさつが少なくなっているように感じます。元気に挨拶ができるようになってほしいです。
- 授業参観などで学校に来ても、全校で挨拶運動をしているのに、すれ違ってもあいさつをする子どもが少ないと思います。
- 家庭でも注意していますが、あいさつが悪いと感じます。大きな声で、はっきりとあいさつをする。大人になっても大事なことです。いくら言ってもダメです。『恥ずかしい』からなのでしょ。何が本当に『恥ずかしい』ことなのかを理解させるのが大変です。
- 性格もあるが、なかなか自分からは発せない。せめて礼をするなど、仕草で表せるようになってほしいと思い、親も手本になるようにしている。大きな声を出し

てあいさつすることも大切だが、仕草で表す方法も指導内容に入れていただければ、声を出すことが恥ずかしい子どもも表せるようになるのではないかと。気持ちを伝える表現の一つとしてご指導いただければと思います。

- 悩んでいた時期に、先生たちが子どもに寄り添い親身になって相談に乗ってくださいました。おかげさまで、自分自身で乗り越えることができ、今では毎日楽しく学校生活を送ることができています。その節は本当にありがとうございました。
- 日頃から子どもたちのためにご尽力していただきありがとうございます。これから学年が上がるにつれてSNS等の使用も増える傾向にあると思います。よい面もありますが子どものうちはいじめの道具になりかねませんので早いうちからSNS等の教育を進めていただければと思います。また、いじめが発見されたときは、学校の方からももう少し突っ込んだ聞き取りや指導をして学校、家庭と協力し、いじめを撲滅していただきたと強く願います。私たちいじめの関係者にならないように子どもたちへ伝えていきます。これからもよろしく願いいたします。

○いつも子どもたちが大変お世話になっております。日々生懸命教育してくださり、先生方には感謝しております。一つだけ、いじめに関する取り組みにもっと力を入れてほしいと思います。スマホの使い方、持っていないければ会話に入れない、持っているライン等の付き合いが大変で、親としてもどうするのが正解なのか分からず困っているところです。子どものスマホ使い方を見ていると、いずれはいじめの原因に繋がってしまうのではと心配しています。スマホの使用法だけに限らず、日頃から相手の気持ちを考えた行動や言動をみんなで考えられるような声かけ、教育を学校と家庭が連携して子どもたちに伝えていければと思います。

学校では、日常の子どもたちとのふれあいに加え、定期的に行っている「学校生活アンケート」や面談を通して一人一人の実態把握を行い、全校体制で共通理解を図っております。今後はよりアンテナを高くしてご家庭と連携した組織的な指導に努めていきたいと考えております。また、子どもたちの心を耕す道徳教育の充実や児童会活動を中心に「いじめ撲滅」に向け、小中連携した子ども主体の取組をしていきます。そして、互いのよさを認め、協力して目標を達成する喜びを味わうことができる体験活動を充実していきます。また、子どもたちが、達成感を味わうことができる「分かる・できる授業づくり」を推進します。SNSについては、来年度は関係機関と連携した情報モラルに関する講話会を実施し、未然防止に向けた取組を充実させていきたいと考えております。今後も、子どもたちや保護者の皆様の心に寄り添い、ご家庭と連携して心の居場所のある学校・学級づくりに努めてまいりますので、気になることやご心配なこと等がありましたら、遠慮なくご連絡をお願いします。



IV 家庭・地域との連携について

○さくら連絡網はとても便利ですが、大切なお知らせなどを見落とししたり、忘れてしまったりしてしまいました。期限までに回答するのを忘れてしまうこともあり、申しわけなかったなと思っています。内容や期限が一番上に記入されていると、より分かりやすいのかなと思います。

◇配付されるお便りですが、写真入りのものはPDFのデータでの配付でよいのではと思います。カラー写真のほうが見やすいし資源削減にもなると思います。また、学校行事ではカメラマンが撮影していますが、その写真を何らかの形で販売してほしいと思います。カ

メラマンは保護者が撮影できないようなベストポジションで撮影できますが、その写真を拝見することができないのが残念に思います。ご検討のほど、よろしく願いいたします。

○児童数が少ないが、PTAの役員人数などが多い気がします。役員人数や活動内容は見直ししないのでしょうか。PTA活動のスリム化も必要不可欠である。

○PTAでは協力的な家庭とそうでない家庭がある。どの家庭の親もたいいは仕事をしているので、もっと平等に役員選出等ができればよいと思う。

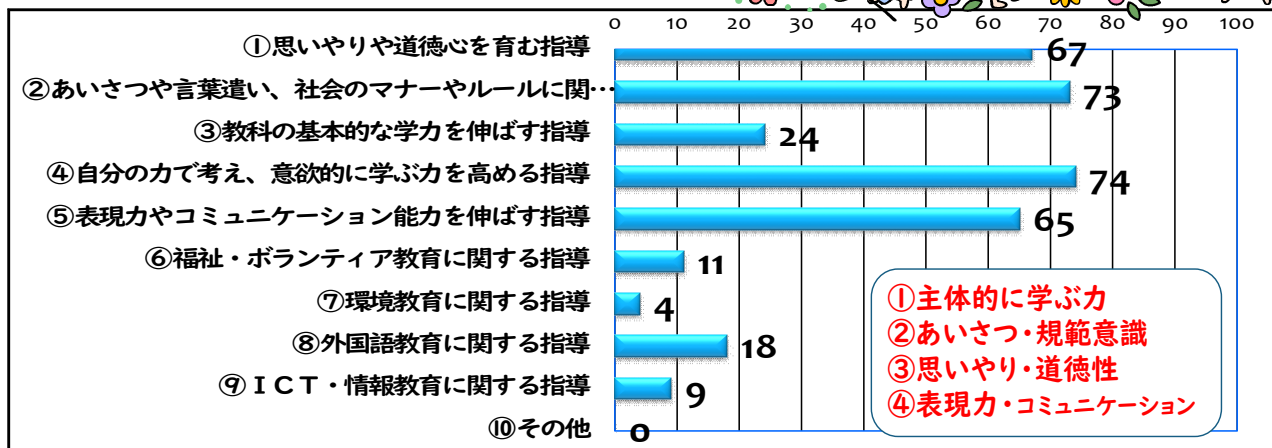
日頃より保護者の皆様には、さくら連絡網による緊急連絡にご対応いただき感謝申し上げます。今後、より伝わりやすい連絡になるよう工夫してまいります。配付物のデータ化については、個人情報保護の面も踏まえて総合的に検討してまいります。また、学校行事の写真販売については、6年生の修学旅行や5年生の宿泊学習については取引先によるインターネットを活用した販売を行っておりますが、その他の主な学校行事についても取引先と相談しているところです。

PTA役員並びに会員の皆様には、子どもたちの学校生活を豊かにするためにたくさんのお力添えをいただき心から感謝いたします。PTA活動に関しては、以前より検討事項として声が寄せられておりますので、PTA執行部会で話題に協議・検討してまいりたいと思います。

また、令和7年度には飯田川小学校は創立150周年を迎えます。その際には保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、お力添えのほど何卒よろしく願いいたします。



「今後、本校の教育活動に期待すること」



「よりよく生きる」という学校教育目標達成には、地域との関わりが必要不可欠です。地域の方々と保護者の皆様の連携の下、教育活動と様々な関係機関と連携して、来年度に向けて新たに進めていきたいと思います。

自由記述より～元気になりました!ありがとうございます～

- 地域に密着した活動がたくさんあり、これから学年が上がるにつれ色々な体験ができるのが楽しみです。
- いつも大変お世話になっております。学校の雰囲気がよくて、楽しく学べる環境を作ってくださっているんだと感謝の気持ちでいっぱいです。
- 農業体験やクラブ活動を通して地域の方とふれあいがありとてもいいです。学習田や子鷺舞など、飯田川小学校でしか体験できないことがあり、これからも是非続けていただきたいと思っています。
- 下校時、目と鼻の先にある児童館へ行く子どもたちにも先生が引率してくださっている姿をお見かけしたことがあり、とても安心しました。日常業務だけでも本当に大変だと思うのですが、それに加えてきめ細やかな部分にまで目配りしていただき本当に感謝しています。
- コロナが5類になり、コロナ禍真っ最中に入学した我が子にとっては、初めて制限のない学校生活を送れた一年になったと思います。地域の方々の協力により、行事もより深みのあるものになり感謝しています。
- 毎日、楽しそうに登校しているので、安心しています。担任の先生にも感謝しています。
- 学校行事にいつも楽しく取り組んでいます。行事だけでなく、学校は楽しい所だと思えるのは先生方のおかげだと思っています。学校生活(行事)を通じて、たくさんのご経験をしてほしいと思います。
- 校外学習も普段の学習では得られない貴重な体験をさせていただき、世界が広がったようです。来年度も子どもたちにたくさん新しい出会い、発見、経験をしてもらいたいです。
- 若竹幼児教育センターとの連携は今後も続けてほしい。先生や児童にとってもよい経験となっていると思う。
- いろいろな活動、特に家ではできない取組を多く取り入れ、経験として子どもたちに体験させていてよいと思った。
- 学年ごとに様々な活動を取り入れていただき、地域に関連したものや、家庭では経験できないことなどを行っていただけなのはありがたい限りです。今年度は、校外学習が、近場が多かったことでお弁当の日がなかったのは、仕事をしている身としてはありがたかったですが、子どもたちは1日でもお弁当の日があった方が遠足気分が味わえたのかな?と思いました。コロナも終わり、友達と一緒に制限なく楽しい経験ができるようになり、子どもも保護者も嬉しく感じています。先生方は準備などもあり、子どもを預かる身として大変な部分は多いと思います。いつもありがとうございます!お忙しいと思いますが、お体には十分に気をつけてください。
- 小学校生活最後の1年、運動会・修学旅行・学習発表会など、コロナ前と同じように実施していただいて、子どももたくさん思い出ができました。内容や感染対策、実施の有無などについて、先生たちでたくさん検討して下さったんだろうなあ...と思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

2月 第3回学校運営協議会の皆様のご意見より(一部抜粋)

- ・目まぐるしく変化していく社会に対応して、学校で取り扱う内容もICT、情報、外国語、環境、福祉など、これからはますます多方面にわたってどんどん進化していくと思います。そういう現状に合わせた教育活動をすると同時に地域の特性(人材や自然文化など)を生かした活動をしているのも飯田川小のよさだと思います。子どもたちがたくましく生きていく力を付けるために、楽しく意欲的に学習に取り組んでいけるように、どの先生も授業内容を工夫していることがよく分かりました。
- ・学校でのあいさつは良いと思いますが、地域の中ではまだまだ足りない感じがします。
- ・飯田川小学校の教育目標の合い言葉に「発信」とありました。校長先生のお話で「発信」という言葉がよく出ていました。まさにストレートに発信し、行動しているという印象を受けました。例えばあいさつ運動への取組は、昨年の春頃に比べ今、子どもたちは自分からあいさつをするようになってきた。それが「発信」の第一歩だと思います。また、学校報にあいさつが苦手な子どものことが書かれてあり心が和みました。「発信」は自分発信で「発心」かなと、私も地域の住民として、また学校運営協議委員としてちゃんと発信しないといけないなと反省しました。
- ・コロナ対応が5類扱いになってもまだまだ感染者が出ている中で、通常通りの教育活動を滞りなく実践していくのは大変難しいことだと思います。子どもたちに確かな力を身に付けるために、たくさんの方々の活動の見直し、精選、実施に当たっても工夫などに努められている先生方に頭が下がります。どうか健康第一に配慮し、仕事に励んでほしいと願っております。
- ・日々のご多忙な業務の中で、世の中の変化に合わせて教育活動を進めていくことは大変かと思いますが、今後もよりよく生きるためにご指導をお願いしたいと思います。今年度、力を入れていただいた「あいさつ運動」について、当日学校に行った際も、上級生の子どもから大きな声であいさつされるなど、効果が十二分に出てきているなどと思っています。私自身もすぐにあいさつを返すことができるように、気を配りながら緊張感をもって廊下を歩かせてもらいました。